

プログラム紹介

- 各講座定員は20名程度です。
- プログラム・内容等は変更となる場合があります。
- ★印はグループディスカッションや模擬体験等ワークショップ型の講座です。

9月23日 土

9:00~9:50 受付
10:00~10:15 開会式
10:15~11:15

オープニングセッション

11:30~12:45 ランチ交流会
13:00~14:30 セッション1
14:45~15:45 セッション2
16:00~16:40

クロージングセッション1
～初日のみの方はここまで～

16:50~17:30 宿泊オリエンテーション
18:00~18:50 タ食
19:00~20:30 グロセミカフェ
(ドリンクを片手に講師とフリー
トーキングできるカフェタイムです。)

9月24日 日

6:30~7:00 ※参加自由
二本松青年海外協力隊訓練模擬体験

「朝の集い」

7:00~8:00 朝食
8:30~9:20 自主セッション
9:35~10:45 セッション3
11:00~11:40

クロージングセッション2
11:40~11:50 閉会式

セッション1 23日 土 13:00~14:30 (90分)

講座 A レヌカの学び
～自分の中の異文化への気づき～
★
青年海外協力隊ネパール会
田中 浩平さん
ネパールから日本の教育を研修するために来日したレヌカさん。そのレヌカさんが日本で実際に生活してみても学んだことがたくさんあります。それらのことが書いてあるカードをめくりながら、自分の中の異文化に出会ってみませんか！

講座 B 日本と中国の翼
～ダブルの文化を持つ子どもたちの成長とともに～
★
つばさ一日中ハーフ支援会
城坂 愛さん
福島県立須賀川桐陽高校生
小島 薫さん
「つばさ」は、中国出身のお母さんたちが自分のおもちゃに中国の言語や文化を伝えたいと組織した共助組織。その活動の中で成長した小島薫さんのこれまでの葛藤やこれからの思いなどの話を通じて、「つばさ」の活動の成長も振り返ります。

講座 C Let's Communicate!
～外国人とのコミュニケーションの秘訣～
★
(公財)福島県国際交流協会国際交流員
大屋 直美
言葉も文化も違う外国人とコミュニケーションを上手にとるためには？カナダ出身日系4世の私の経験を聞いたり、一緒にコミュニケーションゲームをしながら、その重要性和その秘訣について話し合いませんか？もちろん日本語で！

講座 D 芝生は青色？
それとも緑色？
～外国語としての日本語～
★
郡山女子大学短期大学部・非常勤講師
奥秋 和夫さん
日本語を学ぶ外国人の素朴な疑問。そこには文化の違いが大きく関わっています。「芝生が青々してきれいですね。」「先生！芝生は緑ですよ！」お互いの文化の違いを理解し、その違いを楽しみ、そして日本語の素晴らしさも再発見！

講座 E 貿易ゲーム
～世界貿易を疑似体験！～
★
グローカレ6期生
(財)国際交流協会主催事業「くしまユースグローバルカレッジ6期生」
齋藤 健也さん
前田 尋貴さん
世界経済は、一体どう動いているの？このゲームで自由貿易や経済のグローバル化が引き起こす様々な問題を疑似体験。ルールはいたってシンプル。グループで協力し、お金をたくさん稼ごう！きつと、あなたの頭の中がガラッと変わるはず！

講座 F 東京オリンピック・パラリンピック
～その光と影～
★
国際交流の会-かるみあ(早稲田大学大学院)
菊地 恵美子さん
早稲田大学大学院
青沼 由衣さん
3年後に迫った2020年東京五輪。そもそも五輪憲章って何だろう？オリンピック・パラリンピックの理念って何だろう？地域で起きている期待や課題をもとにその光と影について見つめます。

セッション2 23日 土 14:45~15:45 (60分)

講座 A Living in a multi-cultural society
Centre for Language Research, School of Comp. Sc and Engineering
Debopriyo Roy
We will make a discussion on the theme of "multiculturalism" that will enrich our understanding about ideas, beliefs or people from many different countries and cultural backgrounds.

講座 B 感動いっぱい！
驚きいっぱい！
フランス生活
元バリ日本人学校派遣教諭
(郡山市立郡山第四中学校教諭)
内山 あつ子さん
教科書やテレビでも紹介されている、建築物・絵画・芸術・世界遺産。それらを身近に感じることでできたバリでの生活や日本人学校での経験をもとに、フランスで出会った感動や、「何これ?!」といった驚きを皆さんにお伝えします。

講座 C アジアのこども支援
～フィリピン、ベトナム、モンゴル、カンボジア～
★
シェア・ラブ・チャリティの会
菅野 良二さん
多くのアジアの子どもたちが、貧困と戦争の犠牲になっています。今、福島大学の学生たちと一緒に、文房具等の寄贈を通して福島の小学校と現地の小学校との交流を行っています。この活動の様子と活動への思いを皆さんにお伝えします。

講座 D 高校生交換留学
～異文化理解って何なのかな？～
★
(公財)AFS日本協会 福島支部
近内 成子さん
宮川 洋さん
AFSは、一般家庭にホームステイしながら海外の高校に留学する高校生と、海外から県内の高校に留学してくる高校生をサポートしているボランティア団体。活動を始めて15年。この活動を通じて見えてきた異文化理解について一緒に考えます。

講座 E タイとパナマでの土作り
★
シニア海外ボランティア
森田 久夫さん
退職後、仏教国のタイと中米のパナマに農業技術の分野で活動。悔いのない生き方を求め、発想の転換を図り、家族の協力を得て、現地の生活に触れ多くの文化を学びました。炎天下の農地で汗を流し共に体験した思い出をお聞かせください。

講座 F ベトナムでの医療協力
～15年間の活動が意味するもの～
★
福島県立医科大学
総合科学教育研究センター
後藤あやさん
フォー、コーヒー、アオザイ、雑貨など魅力あふれるベトナムで、15年以上続けている医師人材育成の活動をご紹介します。この活動がどう始まり、どう大きくなってきたのか、皆さんと一緒に振り返り、これからを考えます。

自主セッション 24日 日 8:30~9:20 (50分)

セミナー参加者が自主的に行う講座です。発表方法など詳しくは裏のページをご覧ください。

セッション3 24日 日 9:35~10:45 (70分)

講座 A ガーナからHAPPYを学ぶ
★
いわき市立小玉小学校養護教諭
諏佐 好美さん
昨年、JICA 教師海外研修で訪れたアフリカのガーナ。そこで日本の当たり前は、実は有り難いことだらけなんだと実感。帰国後、保健の先生だからこぞできたこと、保健の先生なのにチャレンジしちゃったことの一部をご紹介します！

講座 B この福島の片隅に
～中国人から見た福島の魅力～
★
福島県国際課国際交流員
徐 銓軼
「福島の道路と日本の自由民権運動」、「アジア最長のトンネル」、「炭焼を続けた最果ての集落」、「幻の野岩羽線構想」、「福島⇄山形間の5本目の自動車道路」。これらの福島の片隅にたくさん点在する魅力に夢中になった私の話です。

講座 C 南米に「喜多方ラーメン」の華が咲く
★
喜多方市 地域・家庭医療センター
武藤 啓一さん
JICA 日系シニアボランティアとしてブラジルで2年間、野球とソフトボールの指導をする傍ら、試行錯誤しながら喜多方ラーメンの普及に取り組みました。今年で11回目、ブラジルで開催した熱気満々の喜多方ラーメン祭りをご紹介します！

講座 D ベトナム人技能実習生
～その制度と現状～
★
福島国際交流事業協同組合
通訳・相談員
ブイバン ホックさん
最近、急増しているベトナム人技能実習生。ベトナムの若者たちにとって、この外国人技能実習制度は有意義な制度であり、実習後母国に帰国した人は飛躍的に成長しています。福島県におけるベトナム人技能実習生の現状をお伝えします。

講座 E カンボジアの開発僧たち
～復興を支える寺院と僧侶の活動～
★
曹洞宗安洞院住職
横山 俊顕さん
東南アジアで教育支援を行う国際NGO SVAの活動に同行し、過去2回、カンボジアの諸方の寺院を巡り、復興の現場で活躍する開発僧や地域社会の在り方を視察してきました。寺院に滞在した経験をお聞かせください。僧侶のリアルな日常もご紹介！

講座 F サモアでサッカー?!
スポーツで国際協力?
★
福島大学人間発達文化学類
スポーツ芸術専攻科
(青年海外協力隊)
佐原 悠太さん
南太平洋の小さな島国、サモア。国技がラグビーという国でサッカー隊員として2年間活動。活動中は、練習に人が集まらない、時間通りに始まらない、監督とは大喧嘩、なんでもさもサッカーなの？私の辛くも楽しい2年間をお伝えします。